

令和3年度事業計画

(基本方針)

パンデミックとなった新型コロナウイルスの感染拡大は、本県の産業、とりわけ観光関連産業に極めて深刻な影響を及ぼしている。

令和2年度、当協会では観光関連事業者や市町村観光協会等との連携を深めながら、県と一体となって宿泊施設等での感染予防対策、県民の宿泊・周遊や県内教育旅行の促進、隣県との観光誘客、県内団体をも対象としたスポーツ合宿等、感染予防に配慮しながら従来なかった様々な事業にも取り組んだところである。ワクチン接種が始まることで一筋の光が差し始めているが、依然として厳しい状況が続いているのが現実である。

このような中、令和3年度においても、引き続き感染予防に配慮した誘客・周遊・宿泊促進に重点的に取り組むこととし、観光関連事業者や市町村観光協会等の声を集約しながら、必要かつ有効な事業を柔軟に展開していく。特に国内観光の強化に取り組むこととする。

合わせて、感染状況を踏まえながら、本県ならではの観光資源を生かした「魅力ある観光地域づくりの推進」、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭の開催を捉えたプロモーションの実施や「将来を見据えたインバウンドへの布石」に加え、「全県下・通年化・多種目化に繋がる新たなスポーツ合宿等の誘致」、「みやざきMICEの推進」を軸に、本県の観光回復・振興に取り組む。

〈参考〉

○第35回国民文化祭・第20回全国障害者芸術文化祭	2021年 7月 3日～10月17日
○東京2020オリンピック	2021年 7月21日～ 8月 8日
○東京2020パラリンピック	2021年 8月24日～ 9月 5日
○アジアゴルフコンベンション(AGTC)2021	2022年 3月15日～ 3月17日

(重点事項)

① 関係機関との連携強化

市町村観光協会や観光関連事業者等と緊密に意見交換等を行い、求められる対策等について認識の共有化と相互協力を図り、事業展開に繋げる。

(1)市町村観光協会会長会議

(2)観光関係事業者会議

(3)テーマ別担当者会議

①観光地域づくり関係担当者会議（6月～）

②スポーツ関係担当者会議（6月～）

③MICE関係担当者会議（6月、2月）

(4)会員の集い

賛助会員相互の交流・情報交換等の促進を図る

2 コロナ対策事業の推進

(1)令和2年度の県補正予算（繰越し分）を活用した緊急誘客等を実施

(2)令和2年度からスタートした県内スポーツ団体をも対象とした合宿誘致を継続して実施

(3)令和2年度に延期・中止となったMICEのフォロー誘致

<主な取り組み>

④・旅行会社等（インターネット系旅行会社を含む）と連携した宿泊割引キャンペーン等の実施（当面は、観光需要の回復を担う県民旅行の需要喚起策を中心に展開）

・国内交通機関と連携したプロモーションの実施

⑤・SNS等を活用した誘客プロモーション及びオンラインツアーの実施

3 魅力ある観光地域づくりの推進

県民の県内観光促進、感染状況を踏まえ今後の旅行需要の高まりを見据えた国内からの観光誘客に柔軟に対応するため、本県の知名度を向上させるための誘客プロモーションの展開や地域にある体験・交流型の観光素材を生かした魅力ある観光地域づくり、宮崎らしい素材を生かした旅行商品の造成等に取り組む。

<主な取り組み>

- ⑧・新しいニーズに対応した観光地域「みやざき」づくりの推進
 - ・宮崎の魅力を生かした新たな旅行商品造成の支援
- ⑨・遊び・体験メニューの充実や割引支援

4 ウイズコロナ、アフターコロナでのインバウンド対策

デジタルマーケティングや現地委託調査等を通じて、インターネット等による本県への旅行意欲を喚起させるための効果的なデジタルプロモーションを行う。

<主な取り組み>

- ・インターネットを活用した情報発信の強化
- ・航空会社と連携した宮崎ならではの旅行商品の造成・販売
- ・アドベンチャートラベルの受入環境整備

⑤ ユニバーサルツーリズムの推進

高齢者や障がいのある方々の今後の旅行需要の高まりを見据え、「ユニバーサルツーリズムセンター」を軸に、全ての人が、制約を感じずに気兼ねなく旅行できるための情報収集・提供、宿泊施設等への研修事業等を実施する。

<主な取り組み>

- ・ユニバーサルツーリズムに関する観光客への情報提供、相談対応
- ・宿泊施設や観光地におけるバリアフリー等状況調査
- ・県内観光事業者等を対象とした研修会の開催

6 スポーツイベントや合宿の開催促進

市町村やスポーツ関係者等と連携を図りながら、県内外のアマチュアスポーツ団体等が実施するスポーツイベントや合宿を誘致するとともに、剣道等の武道を切口にした新たなスポーツ合宿の誘致にも積極的に取り組む。

また、プロ野球やＪリーグ等のキャンプ等受入支援、オリンピック・パラリンピック等の国内外の代表チームの事前合宿等に対して関係機関と連携して円滑な受入対応を行う。

〈主な取り組み〉

- ・ 県内及び県外のスポーツ団体等の合宿等誘致（再掲）
- ・ 武道ツーリズム等、新たなテーマによるスポーツ合宿誘致
- ・ プロ野球、Ｊリーグ等のキャンプ受入支援

7 MICE誘致の更なる強化

感染状況を踏まえつつ、延期・中止となった会議の開催に向けたフォローに取り組むとともに、新たな誘致セールス先の開拓を目指すために、重点的に東京・関西・福岡地区のセールスに取り組む。

〈主な取り組み〉

- ・ 関西地区のMICE誘致セールスの強化（誘致商談会）

I 観光振興【793,472千円】

令和2年度に、コロナ対策事業費として県補正予算1,341,628千円の交付を受けたが、そのうち552,000千円を繰り越して、令和3年度において、当面のコロナ対策事業費として活用する。

※ 令和2年度観光振興関係当初予算 164,386千円

① 観光関連産業の回復に向けた宿泊割引キャンペーン等の取組

(552,000千円)

(1) 旅行会社等（インターネット系旅行会社を含む）と連携した宿泊割引キャンペーンの実施

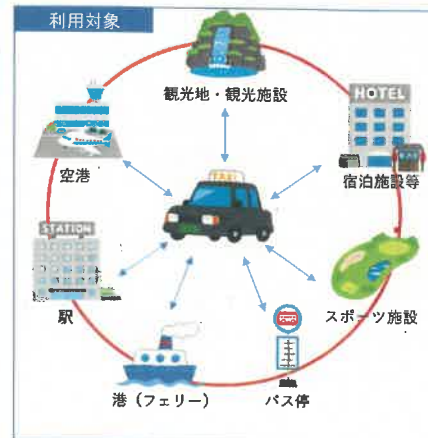
- ・ 当面は、観光需要の回復を担う県民旅行の需要喚起策を中心に展開
- ・ GoTo割引率の引き下げや反動減、オリパラ・国文祭を視野に入れつつ、閑散期対策を含めた国内旅行需要の本格的な取り込みを実施



(2) 交通機関との連携による周遊促進

- ・ 県内旅行者が利用できるプレミアム付タクシー回数券の販売

※実施時期について、年度前半からとし、夏場頃までの利用を想定



2 観光情報発信・知名度向上の強化

(56,966千円)

本県の魅力を伝える誘客プロモーションの展開や国内最大級の旅行博への出展等により本県の知名度向上を図るとともに、本県観光情報を発信・提供

(1) 本県知名度向上のため誘客プロモーションの展開等

- ・「スポーツランドみやざき」の魅力を生かした誘客プロモーションの実施
- ・ツーリズムEXPOジャパン（11月：大阪）への出展
- ・SNS等を活用したシーズン毎の魅力発信と誘客プロモーションの実施
- ④・オンラインツアーによる効果的な魅力発信



「ツーリズムEXPOジャパン」

(2) 国内交通機関と連携した効果的なプロモーション

- ・国内交通機関とタイアップし、宮崎のスポーツ・神話・食等をテーマにしたプロモーションを展開

(3) 市町村と連携して、宮崎県観光情報サイト「旬ナビ」やInstagram等のSNSを活用した観光情報発信の充実

④3 新しいニーズに対応した観光地域「みやざき」づくりの推進

(34,849千円)

新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴い、観光を取り巻く環境が変化していることから、地域の中核となる観光人材育成や受入環境の整備を支援することにより、新しいニーズに対応した観光地づくりを推進

(1) 旅行ニーズの変化に対応した人材づくり支援

- ・新しいニーズに対応した商品開発等を支援する専門人材の配置及び地域の中核となる観光人材育成を目的とした研修の実施等

(2) 旅行ニーズの変化に対応した受入環境整備への支援

- ・市町村観光協会や民間事業者等が実施する新たなニーズに対応した施設整備に対し、その費用の一部を助成

4 旅行商品造成に向けた取り組み (44,000 千円)

本県への誘客を図るため、旅行会社等が企画する旅行商品に対する支援や観光素材説明会での本県観光PRを行い、宮崎の素材を生かした「新しい宮崎旅行」の造成を支援する。

(1) 旅行会社等との連携・造成支援

・「分散型旅行」、「ウィークデー旅行」など、新たなテーマによる旅行商品の造成に対する支援

⑧・ロングステイの強化を図るため、遊び・体験メニューの充実や割引を支援

⑨(2) サイクルツーリズム等の推進

・サイクリングをはじめスポーツを素材としたツアー商品の造成にかかる支援



HP「ひなたサイクリング宮崎」

5 教育旅行誘致・定着化促進 (29,890 千円)

行政機関・団体、民間事業者等で構成する宮崎県教育旅行誘致推進協議会において、オールみやざき体制で誘致に取り組み、教育現場のニーズを捉えた誘客プロモーションを展開し、国内外からの教育旅行の誘客を図る。

(1) 新たな教育旅行素材の提案

本県ならではの教育旅行素材の発掘・磨き上げを行い、新たな素材として提案・セールスを実施

(2) 国内誘致

⑧・本県で教育旅行を実施する際、貸切バスの費用及びその企画開発費（企画開発費については新規の教育旅行実施校に限る）の一部を助成

・関西地区をメインターゲットに教職員及び旅行会社等の招請事業を実施

・国内主要都市（東京、名古屋、大阪等）での誘致セールスを実施



教育旅行ガイドブック

(3) 国外誘致

・将来を見据え、本県への教育旅行の伸びが著しい台湾・香港をメインターゲットに招請事業及び現地セールスを実施

⑧・海外学校との交流事業を行う県内学校に対し、交流行事に要する経費の一部を助成

6 九州圏域観光誘客 (4,780 千円)

九州域内の誘客促進を図るため、NEXCO西日本や隣県と連携した共同プロモーションの実施等により、本県誘客を促進する。

- (1) 大分県と連携した共同セールス・誘客プロモーションの実施
- (2) NEXCO西日本との連携

九州周遊ドライブパスとの連携や高速道サービスエリアや道の駅等でのPR事業を実施

7 ユニバーサルツーリズムの推進 (10,000 千円)

高齢者や障がいのある方々の今後の旅行需要の高まりを見据え、「ユニバーサルツーリズムセンター」を軸に、全ての人が、制約を感じずに気兼ねなく旅行できるための情報収集・提供、宿泊施設等への研修事業等を実施

- (1) ユニバーサルツーリズムに関する観光客への情報提供、相談対応
- (2) 宿泊施設や観光地におけるバリアフリー等状況調査
- (3) 県内観光事業者等を対象とした研修会の開催

8 観光人材の育成

本県の観光業務に携わる人間の観光人材としての育成を計画的に実施。

9 訪日外国人旅行者誘致対策

(60,987千円)

○ 国の方向性

観光戦略実行推進会議（令和2年12月）「感染拡大防止と観光需要回復のための政策プラン」～2030年6千万人の誘客に向けて、インバウンドの段階的復活を企図

○ 本県の方向性

・インバウンドの再開に向け、デジタルを活用した情報発信やオンライン商談会等を実施



台湾 I T F の模様（2020年）

- ・宮崎県香港事務所、宮崎県経済交流室（上海）、台湾駐在員と連携したセールスやイベントの実施
- ・羽田・成田・福岡利用の外国人へのプロモーション、宮崎空港へのプログラムチャーター便の運航について、県と一体となって航空会社や旅行社へ働きかけ。

(1) 東アジア重点地域対策（韓国、台湾、香港、中国）

- ・県海外事務所、駐在員、代理店等による旅行博出展やイベントの実施
- ・旅行社、航空会社、関係団体とのオンライン会議・商談会の実施
- ・アジアナ航空、チャイナエアライン等が行う遊覧飛行等の事業に協力
- ・航空会社や旅行会社のオンラインイベントやオンラインツアーへの協力
- ・在日ランドオペレーターへのセールス、在日インフルエンサーによる情報発信

(2) 欧米豪市場対策（英国、米国、豪州、シンガポールも含む）

- ・航空会社と連携した、着地型旅行商品の造成・プロモーション・販売・アドベンチャートラベルを意識したコンテンツの掘り起こしと磨き上げ
- ・アドベンチャートラベル・ワールドサミット2021北海道への参加



ADVENTURE TRAVEL
TRADE ASSOCIATION

ATTAのマーク

(3) クルーズ



クイーンエリザベス2世号

- 外国船の日本発着クルーズ、台湾及び中国発着クルーズ等の誘致セールス（オンライン・オフライン）
- ラグジャリークルーズの誘致セールス（オンライン）、シートレードクルーズ（クルーズコンベンション）での情報収集とセールス
- 県内外の関係機関と連携したプロモーション

(4) デジタルプロモーション

- 宮崎県観光情報外国語サイトでの情報発信強化
- 観光庁多言語解説整備事業の実績を活用したサイト内新ページ制作、JNTO（日本政府観光局）等の外部サイトを活用した情報発信
- YouTube チャンネルの新設及び広告配信、Facebook ページの運用、在日インフルエンサーやユーチューバーによる情報発信



旬ナビ（簡体字版）

(5) 訪日外国人への多言語環境の提供

- 宮崎県多言語コールセンター
- 観光庁「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」青島を中心とする宮崎神話の英語解説の中国語化

(6) 人材育成（再掲）

本県の観光業務に携わる人間の観光人材としての育成を計画的に実施



コールセンターPOP

Ⅱ スポーツランド推進【80,432千円】

1 スポーツ合宿・キャンプ等受入支援 (46,676千円)

従来対象としていた県外団体のみならず、県内アマチュアスポーツ団体等に対しても合宿経費の一部助成等を行い、本県での合宿、スポーツイベントの開催実現を通し、県内宿泊を促進

また、プロ野球やサッカーJリーグ等のプロスポーツチームなどに対する宮崎牛等の県産品贈呈のほか、市町村が行うキャンプ受入歓迎事業等を支援

(1) アマチュアスポーツ団体の受入支援

- ・コロナ経済対策としてスポーツ合宿受入、スポーツイベント開催補助金による支援
- ・県全域を対象としたスポーツ施設等の紹介、地元等との調整

(2) プロ団体、各競技団体代表等への受入支援（県産品贈呈）

- ・プロ野球、サッカーJリーグ
- ・ラグビー、トライアスロン、陸上、フェンシング等の国内外代表チーム



令和3年オリックス・バファローズ春季キャンプ



令和2年パナソニックワイルドナイツキャンプ

團(3) 受入歓迎

- ・ボールパークG（巨人軍物産展）、ジャビットバス運行などプロ野球一軍5球団の盛り上げ支援
- ・エアポートボールパーク2022開催支援
- ・プロ野球選手とファンとのキャッチボールイベントの開催（宮崎球援プロジェクト）



令和元年度
プロ野球選手とファンとの
キャッチボールイベント

(4) 受入体制の強化

Jリーグのトレーニングマッチに係るコーディネートや対戦チーム確保に係る支援のほか、地元審判員確保のための講習会の開催によりキャンプ地としての受入体制強化

2 スポーツイベント等開催促進 (29,900千円)

国際大会や全国大会など経済効果の高いスポーツイベント等に対し、開催経費の一部助成、調整業務や現地対応等の運営支援の実施

- ・福岡ソフトバンクホークス公式戦(8月)
- ・ワールドトライアスロンカップ(2021/宮崎)(10月)
※ITU:国際トライアスロン連合
- ・第34回青島太平洋マラソン(12月)
- ・三大ゴルフトーナメント

ダンロップフェニックス(11月)、リコーカップ(11月)、

アクサレディース(3月)

新・広島東洋カープ日南キャンプ60周年イベント支援(2月)

3 誘致セールス・PR活動 (3,856千円)

スポーツイベントやキャンプ・合宿の「全県化」、「通年化」、「多種目化」に向けた大学・実業団等を対象にした誘致セールスやセミナーの実施

武道等を活用した体験型ツーリズムのプロモーション及び受入環境の整備

団・スポーツ合宿誘致セールス(関東、関西、中部・九州)

団・合宿誘致セミナー(関西・中部)

- ・武道(剣道)ツーリズムの推進、体験型メニュー等の開発支援
- ・プロゴルフトーナメントへの県外観光客の誘致(ゴルフ王国宮崎振興)
- ・プロ野球・サッカーJリーグのキャンプガイドマップ作成



令和元年度合宿誘致セミナー

團4 県・関係市町村、競技団体等と連携した東京オリンピック・パラリンピックの
受入連携強化

東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿を行うドイツ陸上連盟、イギリス
とカナダのトライアスロン・パラトライアスロン代表チームの合宿の受入支援
国内外の代表チームの合宿の受入対応

Ⅲ MICE推進【74,846千円】

1 MICE推進体制強化（3,319千円）

團(1) みやざきMICE推進協議会による誘致の推進

協議会を通じてMICE受入体制の拡充、産学官が連携した誘致やアンバサダー（九大・宮大学識者）の情報提供・助言等による誘致活動

(2) 会議・研修

日本政府観光局（JNTO）主催研修等に参加し、MICE情報の収集、職員のスキル向上

今年度宮崎開催となる九州・沖縄地区コンベンション推進団体連絡会など、MICE関連団体との会議における意見交換・情報共有による誘致内容の更なる充実

(3) MICE歓迎支援

歓迎看板設置や郷土芸能披露の支援の他、バナー、横断幕の貸出や、観光パンフレット、飲食店ガイドマップ等の提供



歓迎支援 バナー 及び 横断幕 設置

2 MICE誘致促進強化 (7,160千円)

(1) MICE個別誘致セールス(国内・海外)

大都市圏の学術会議事務局や大学、企業、さらに県内の大学や各種団体等への定期訪問を強化 また、韓国・台湾へのセールスの実施

(2) MICEキーパーソン招請

学会関係者等MICE開催地決定に影響力のあるキーパーソンや、インセンティブ旅行等を扱う国内外の旅行業者を招請、宮崎のMICE施設や観光地等の視察を実施し、開催地決定に繋げる

(3) 国内・海外MICE誘致

国内外で開催されるMICE商談会(日本政府観光局(JNTO)等主催)に参加、開催補助金等の支援内容を説明し、国内・海外MICE、訪日インセンティブ旅行を誘致

(4) MICE誘致商談会

学術会議等の主催者や大学・企業関係者、旅行取扱エージェントなどを対象に商談会を開催、開催補助金制度などの説明や情報交換会を行い、MICE誘致に繋げる



誘致商談会(関西地区)

3 MICE開催支援 (64,367千円)

(1) MICE開催補助金交付

- MICE開催補助金交付要綱の基準を満たす九州規模以上の大会及び訪日インセンティブ旅行取扱エージェント等に対して補助金を交付
- 令和2年度に延期・中止となったMICEのフォロー誘致

<令和3年度の主なMICE>

- 第57回 日本周産期・新生児医学会学術集会
7月11～13日 延参加者 9,000人 延宿泊者 6,000人泊
- 第40回全国私立保育園連盟青年会議宮崎大会
9月28日～9/29 延参加者 1,100人 延宿泊者 500人泊
- 第46回全国社交飲食業代表者宮崎大会
10月25日 延参加者 1,000人 延宿泊者 950人泊
- 第73回 日本皮膚科学会西部支部大会
10月29～31日 延参加者 1,980人 延宿泊者 1,600人泊
- 第73回 西日本泌尿器科学会総会
11月4～7日 延参加者 2,000人 延宿泊者 2,000人泊
- 第48回 日本臨床バイオメカニクス学会
11月5～6日 延参加者 1,200人 延宿泊者 1,000人泊
- 第73回 日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会
11月10～12日 延参加者 3,000人 延宿泊者 2,000人泊